

平成29年度までの郡上市森林づくり推進会議の取組状況

検討事項		取組結果等	市対応等
平成18年度	森林づくり推進会議設置(11月)		
平成19年度	・利用間伐プロジェクトの実施 作業道を整備し、列状間伐や高性能林業機械の導入による実証試験を実施(古道市有林)	地形・森林の条件が合えば、森林資源を有効に活かせることが判明。	
平成20年度	・森林資源循環プロジェクトの検討 作業道整備や高性能林業機械を導入した低コスト化が困難な地域について、材の搬出方法、伐採跡地の更新方法について検討	小面積皆伐と架線による集材試験を計画したが、精査の結果、試験適地ではなかったため、実証試験を断念。公益的機能の発揮向上のため切り捨て間伐を実施。(内ヶ谷市有林)	
平成21年度	・山づくり構想検討 森林整備・活用部会、多目的利用部会の設置	作業部会会議7回、先進地視察4回、地域集会7回を開催し、幅広く市民の意見を構想に反映。	「郡上山づくり構想」策定
平成22年度	・森林資源循環プロジェクトの実施 ・郡上市森林整備計画の策定について	小面積皆伐と架線による集材試験を実施(八幡町ナカソレ市有林) 郡上市森林整備計画の策定(計画期間H23年4月～H33年3月)	実証試験で得られたデータを県森林研究所に提供。県内の他試験地と併せて解析されることを期待
平成23年度	・郡上市森林整備計画の変更 ・森林資源循環プロジェクトの実施	H23年4月の森林法一部改正に伴い、郡上市森林整備計画を変更 前年度事業地(ナカソレ市有林)において、森林文化アカデミーがコンテナ苗の植栽試験を実施	
平成24年度	・森林資源の充実とともに、今後増加が予想される主伐と再造林等について検討 皆伐施業ガイドライン検討部会 ゾーニング検討部会	【市へ提言】 1 「皆伐施業ガイドライン」の策定 2 素材生産協議会等の団体の創設 3 「緑の水と風の基金制度」の創設 4 ニホンジカ被害の対策について 5 森林配置(ゾーニング)の考え方について	皆伐跡地調査の実施開始 森林経営計画の策定推進 清流の国ぎら森林環境基金事業開始
平成25年度	・森林資源の充実とともに、今後増加が予想される主伐と再造林等について検討 皆伐施業ガイドライン検討部会 ゾーニング検討部会	・皆伐施業ガイドライン策定に向けた意見取りまとめ	・「郡上市皆伐施業ガイドライン」策定 ・「郡上市素材生産技術協議会」の設置 ・県水源地域保全条例指定区域を水源涵養機能森林として新たにゾーニング
平成26年度	・森林資源の充実とともに、今後増加が予想される主伐と再造林等について検討 ゾーニング検討部会、木質バイオマス部会、獣害対策部会	【市へ提言】 1 ゾーニング(木材生産区域)の設定 2 木質バイオマスの利用促進 3 ニホンジカ捕獲体制の確立	「郡上市鳥獣被害防止対策実施隊」の設置
平成27年度	・郡上市森林整備計画の策定について ・ゾーニング検討組織、方法について ・木質バイオマス利用推進について	・郡上市森林整備計画の策定(H28年4月～H38年3月) ・ゾーニング	「森林動物共生サポートセンター」の設置
平成28年度	・人材育成について	・平成29年度予算に反映(木育推進等)	「郡上市森林ゾーニング検討会議」設置
平成29年度	・森林の将来目標区分の設定、変更について ・提言「緑の水と風の基金制度」に関する検討(人材育成)について	・ゾーニングの目的、手法、周知、推進等について協議 ・森林環境譲与税(仮称)活用による人材育成の充実(方針)について協議	・郡上独自の将来目標区分の設定、変更手法を構築 ・市他部局、NPO、地域の企業等との協働で木育推進